



松二中だより

二本松市立二本松第二中学校通信 No. 14
発行日 令和4年2月3日
発行責任者 校長 大和田康夫

令和3年度「学校評価」について

本校では「学校経営・運営ビジョン」の内容と関連付づけた評価項目により学校の評価を行っています。

生徒及び教師については年2回、7月と12月に実施し、保護者については、年1回の12月に実施して、前回のものと比較して、本校の教育活動全体について評価を行いました。

その結果及び考察については、設置者である市に報告するとともに、よりよい学校経営の推進に向け、活かしていく所存です。

以下、主な項目について保護者からの評価平均数値を中心に、ご報告いたします。

なお、記載する数値は4段階評価での平均値です。()内は前回の平均値です。

○ 二中の学習活動、教育活動について

質問 **お子さんは、授業で習う内容をおおむね理解できていると思いますか。**

2. 74 (2. 72)。同質問で生徒は 3. 17 (3. 32)、教師は3. 21 (3. 00)です。

教師は生徒が主体的に取り組めば、わかる授業をやっていると見てしまう傾向があります。必要な知識や技能は定着させ、そこから思考・判断・表現力を身につけていかなければならないこと、そして生徒の理解を確認しながら授業を展開することが大切であることを改めて確認しました。

質問 **二本松二中では、一人一人の生徒に適応した授業が展開されていると思いますか。**

2. 65 (2. 57)。同質問で生徒は 3. 52 (3. 54)、教師は3. 14 (3. 00)です。

保護者からの評価で「どちらかというところではない」が30%以上あり、今後も力をいれていかなければならない点であることを確認しました。少人数での授業や、個に応じた課題の提示、教師が複数での指導等、個別に対応していく場を設定していきたいと思います。

質問 **お子さんは、自主学習ノートや生活記録ノートなどを活用して家庭学習にしっかりと取り組んでいると思いますか。**

2. 66 (2. 72)。同質問で生徒は 3. 23 (3. 43)、教師は3. 50 (3. 33)です。

生徒の評価が0. 2ポイントと低下しました。一方で、教師の評価は上昇しており、教師が宿題を出しても、生徒自身はしっかりと取り組んでいるとは考えておらず、齟齬の状態がみられます。保護者の評価が低いのは、家庭では、学習している時間よりテレビやゲーム、スマホ等のメディアを使っている姿が多く見られるからと思われる。学習内容の習得には授業だけではなく家庭学習での復習等が必要であること、また、宿題等与えられたものだけではなく、自分から課題を見出して家庭学習に取り組むことも必要であることを指導したいと思います。この点について、家庭との連携、協力をお願いします。

○ 二中の教育環境、施設等について

質問 **二本松二中は、落ち着きとうるおいがあり、また、安心して安全な教育環境が整備されていると思いますか。**

3. 12 (3. 18)。同質問で生徒は 3. 36 (3. 36)、教師は3. 67 (3. 36)です。

落ち着いて取り組んでいると感じていない理由は、コロナ感染症の対応で、様々な行事や教育活動が延期や中止になっている状況からの不安があると思われます。よりよい教育活動ができるためには、安心、安全な環境の整備は必須です。生徒達が安心して学校生活を送れるようさらに努めたいと思います。



質問 二本松二中は、伝統を重んじ、校舎に対する愛着心と愛校心をはぐくんできていると思いますか。

3. 02 (3. 22)。同質問で生徒は 3. 55 (3. 65)、教師は 3. 80 (3. 43) です。

生徒は毎日の清掃活動に一生懸命取り組んでいます。そのため、校舎はきれいな状態です。しかし、生徒、保護者の三者ともに肯定的に答えた割合は減少しています。それに対して教師側は大きく増加しました。ずれが生じているのは、生徒は清掃を普通に行っており、愛校心を持って取り組んでいると感じていないのではないかと思われる。生徒達を賞賛し、二中の清掃活動の素晴らしさを発信していく必要があると思います。

○ 二中の特別活動、学校行事について

質問 二本松二中は、生徒中心の教育活動が行われていると思いますか。

3. 20 (3. 14)。同質問で生徒は 3. 40 (3. 48)、教師は 3. 53 (3. 46) です。

今年度も生徒の主体性を育むことを目指した教育活動に努めてきました。平均値の増減は生徒、保護者、教師の評価はほとんど変わりませんでした。この点は、今後も学校経営の中心に据え、生徒自らが主体的に学習活動、生徒会活動等に取り組む時間、場を数多く設定していきたいと思います。

質問 お子さんは、心身の錬磨を目指し、向上心を持って部活動に意欲的に取り組んでいると思いますか。

2. 12 (2. 28)。同質問で生徒は 3. 68 (3. 72)、教師は 3. 64 (3. 58) です。

保護者と生徒の評価が低下しました。今年もコロナ禍のため、新人戦の延期や各種大会の中止があり、練習試合等もできない状態があったためと推測されます。そのような中でも、90%以上の生徒は意欲的に取り組んでいると回答し、部活動に期待するものは大きいことが分かります。今後も新型コロナ対策をしっかりと取りながら、充実した活動になるように努めていきたいと思います。

○ その他 (雰囲気 ICT教育 相談体制について)

質問 お子さんは、先生方とのふれあいを通して、楽しい学校生活を送っていると思いますか。

3. 22 (3. 06)。この項目は保護者のみの評価です。

良好な人間関係のもと、信頼関係を築き、生徒達が安心して、笑顔あふれる学校づくりを進めていきたいと思います。

質問 授業等で、ICT(インターネットやコンピューターなど)の効果的活用がはかられていると思いますか

2. 78 (2. 52)。同質問で生徒は 3. 33 (3. 49)、教師は 3. 43 (3. 08) です。

保護者、教師は数値が上昇しました。ICTを活用して授業を行っていることが増えたためと考えます。また、家庭にタブレット端末を持ち帰ってオンラインでの接続テストを行うなど本格的にICT教育が進んできたことと保護者は実感していると推測します。しかし、課題としてICTを使ったわかる授業を実践すること、ICTを生徒の理解に、どう活用していくが挙げられます。これからICT化の時代を生きる生徒達のため、ICT活用のスキルとともに、その対応方法も教えていきたいと思います。

質問 お子さんについての悩みごとや困りごとがあったとき、学校は相談しやすい状況になっていますか。

2. 24 (2. 09)。同質問で生徒は 3. 02 (3. 05)、教師は 3. 67 (3. 54) です。

学校のカウンセリング機能を高め、強化したいと考えています。生徒は80%近く、教師は100%充実した相談体制であると肯定的に評価していますが、保護者は40%程度の評価です。この結果を真摯に受け止め、いつでも生徒にとって教師がよき相談相手となるように、より一層信頼関係の構築とカウンセリングスキルの向上に努めていきたいと思います。また、スクールカウンセラーや心の相談員との連携、協力体制も強化したいと思います。

以上、保護者の皆様には、学校評価へのご協力、ありがとうございました。今後も、よりよい学校経営の推進に向け、努めてまいります。